

この度はデジタル外側マイクロメータをお買い上げ頂きありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読み頂き正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

特長

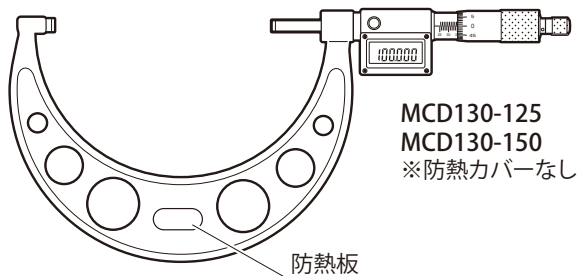
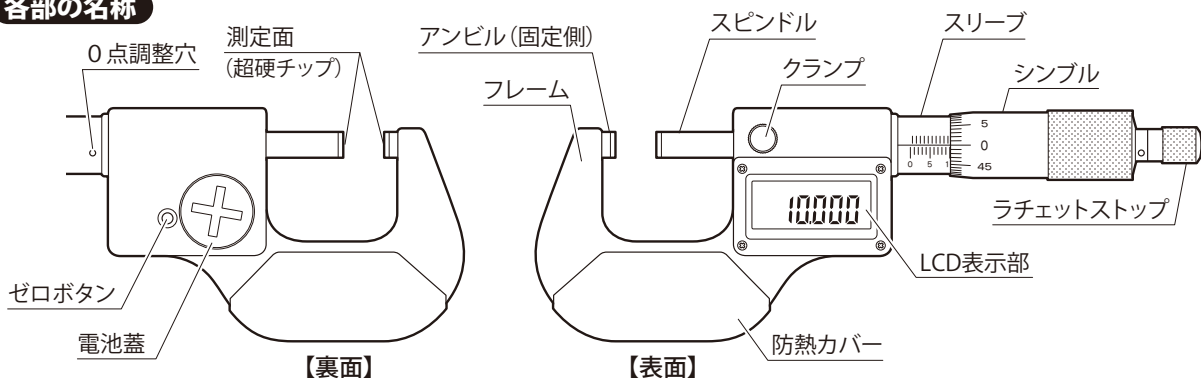
- 読み取りやすいデジタル表示
- 測定面は超硬チップ付
- 定圧装置付
- オートオン機能付
- オートディスプレイオフ(約6分)機能付
- 防熱カバー付 (MCD130-125、MCD130-150を除く)
- 球面アタッチメント付 (SR2.5)
- SR44(酸化銀電池) テスト用1個付属

仕様

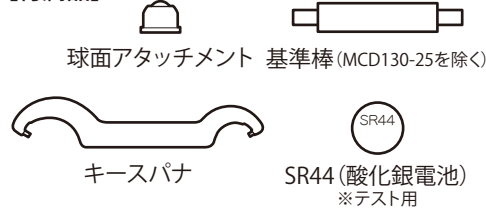
	測定範囲 (mm)	最小読取値 (mm)	最大許容誤差 (μm)	質量 (g)
MCD130-25	0 - 25	0.001	4	260
MCD130-50	25 - 50	0.001	4	380
MCD130-75	50 - 75	0.001	6	470
MCD130-100	75 - 100	0.001	6	640
MCD130-125	100 - 125	0.001	6	490
MCD130-150	125 - 150	0.001	6	570

※最大許容誤差は量子化誤差(±1カウント)を含みません。

各部の名称



【付属品】



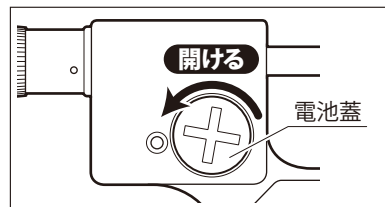
トラブルと対応

トラブルの内容	対応策
LCD表示部に誤った数値と、「in」という文字が表示される	背面のゼロボタンを、2秒以上長押ししてください。
LCD表示部に「E 1」という文字が表示される	測定値が測定範囲を超えています。ゼロボタンを押すか、スピンドルを測定範囲内で戻してください。
LCD表示部に「E 3」という文字が表示される	センサが測定範囲を超えています。電池を入れ直してください。
測定値が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> ●測定面の汚れをガラスペーパーなどで拭き取ってください。 ●0点があるか確認し、ゼロボタンを押してください。
<ul style="list-style-type: none"> ●LCD表示部に何も表示されない ●表示が安定しない ●表示が不明確である 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を入れ直してください。 ●新しい電池と交換してください。

※症状が改善されない場合や不明な点がございましたらお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。
※お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。

電池の入れ方

- ①本体裏面の電池蓋を、矢印の向きにコインなどで回して開けます。



- ②電池を必ず(+)側を表にしてセットしてください。
- ③電池蓋を元通りに装着してください。

⚠️ ご注意

電池は必ずSR44をお使いください。

使用方法は裏面へ→

電源

シンプルを回すと自動的に電源がONになり、LCD表示部に数値が表示されます。
約6分以上操作をしないと、自動的に電源はOFFになります。

0点の合わせ方

- ①アンビル・スピンドルの測定面を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って異物が付着していない状態にしてください。
- ②クランプを回してゆるめ、ラチェットストップを持ってシンプルを回し、測定面を合わせます。測定面が合ってから、ラチェットが『カチカチ』と1～3回鳴った所で停止してください。 **図1**

※MCD130-25以外は、測定面の間に付属の基準棒を挟んで合わせてください。

- ③基準線目盛の『0』にシンプルの『0』目盛が一致していれば、原点が合っています。 **図2**
一致していない場合は、下記の手順で原点を合わせてください。

1. クランプを回してシンプルを固定する。
2. キースパナをシンプル裏面の0点調整穴に入れる。
3. 原点が一致するまで、キースパナでシンプルを回す。

図3

- ④原点が一致したら、本体裏面のゼロボタンを短く押してください。 **図4**

- ⑤LCD表示部に『Set』が0.5秒ほど点灯後、数字の表示が下記のように表示されます。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ●MCD130-25・・・0.000 | ●MCD130-100・・・75.000 |
| ●MCD130-50・・・25.000 | ●MCD130-125・・・100.000 |
| ●MCD130-75・・・50.000 | ●MCD130-150・・・125.000 |

これで測定の前準備ができました。

使用方法

- ①アンビル・スピンドルの測定面を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って異物が付着していない状態にしてください。
- ②アンビルとスピンドルの間に被測定物を入れます。
- ③クランプを回してゆるめ、ラチェットストップを持ってシンプルを回し、測定面で被測定物を挟みます。ラチェットが『カチカチ』と1～3回鳴った所で停止してください。 **図5**
- ④LCD表示部に表示された数値が、測定値となります。

※通常のマイクロメータ同様にスリーブとシンプルの目盛を読み取ることもできます。

球面アタッチメント

必要に応じて、アンビルまたはスピンドルの測定面に、球面タッチメントを取り付けてください。 **図6**

球面アタッチメント取付後、上記『0点の合わせ方』を参照して0点を合わせてください。

※球面アタッチメント取付時、測定値はスリーブの表示値より5mmマイナスとしてください。

注意

- ご使用前に、必ずグラスペーパーなどで測定面の汚れを除去してください。
- 測定範囲の上限を3mm以上上回って、スピンドルを回さないでください。
- 精密機器ですので、落としたりぶつけたり、強い力を加えたりしないでください。
- 強い磁気や高電圧に近づけないでください。故障の恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車の中、火のそばなどでの使用、保管はしないでください。
- 水や油のかかるところで使用しないでください。
- 分解・改造をしないでください。
- 使用後は柔らかい布などでゴミや切粉などを取り除き、防錆油を塗布してお子様の手の届かない場所へ保管してください。
- 本体の手入れに有機溶剤を使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は、本体から電池を外して保管してください。
- 用途以外のご使用は、事故やけがの原因となりますので絶対におやめください。

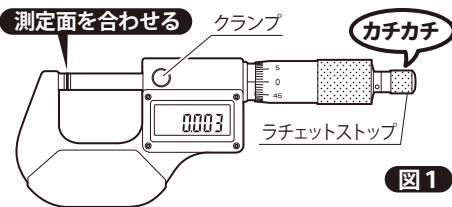


図1

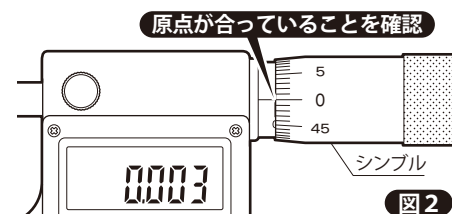


図2

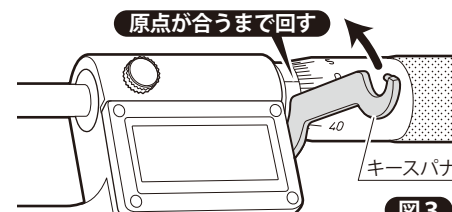


図3

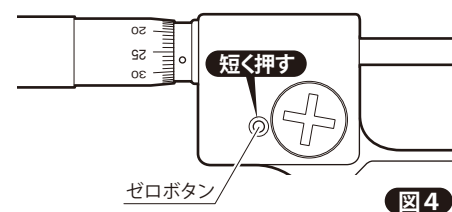


図4

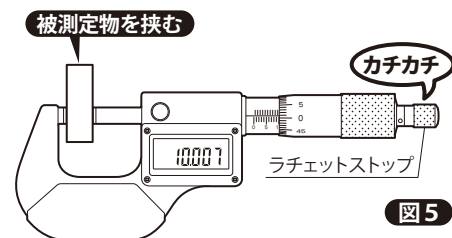


図5

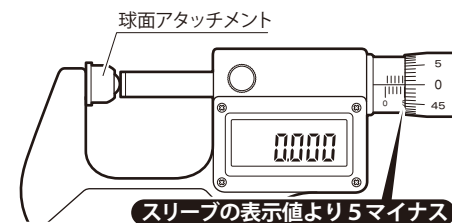


図6